

世界の舞台で輝いたTOYO

東洋大学と東京五輪

今年開催された東京オリンピック・パラリンピックに、本学からは在学学生3名、卒業生12名が日本代表として選出、一大会としては本学史上最多15名の選手が出場しました。

競泳女子200mおよび400m個人メドレーでは大橋悠依選手(2018年卒業)が2つの金メダルを獲得。日本競泳女子史上初となる2冠を達成すると、陸上競技男子20km競歩では池田向希選手(2021年卒業)が銀メダルを獲得。連日、世界の舞台で躍動する選手たちが多くの感動を与えてくれました。



写真: The New York Times/Redux/アフロ

大会に出場した在学学生からのメッセージ

写真で振り返る東京五輪



▼酒井夏海選手(7月24日 東京アクアティクスセンター)



写真: 杉本哲大/アフロ

▼白井璃緒選手(7月28日 東京アクアティクスセンター)

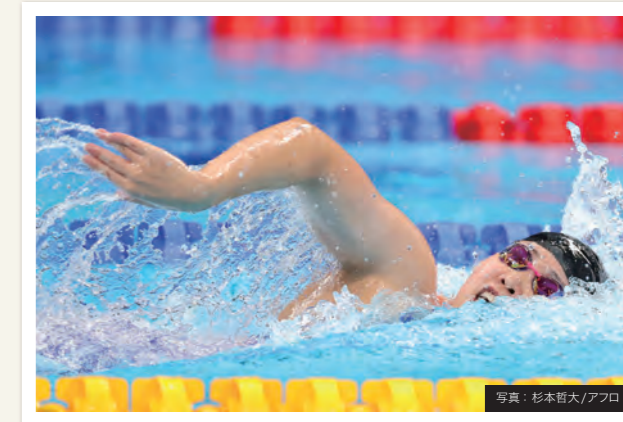


写真: 杉本哲大/アフロ

▼鈴木碧斗選手(8月6日 国立競技場)



写真: 長瀬友哉/フォト・キンモト

水泳部
酒井 夏海 選手

法学部企業法学科 2年

出場種目 競泳/女子4×100mフリーリレー
予選全体9位: 3:36.20

水泳部
白井 璃緒 選手

国際観光学部国際観光学科 4年

出場種目 競泳/女子4×200mフリーリレー
予選全体9位: 7:58.39

陸上競技部 短距離部門
鈴木 碧斗 選手

法学部企業法学科 2年

出場種目 陸上競技/男子4×400mリレー
予選全体10位: 3:00.76 (日本記録タイ)

練習を積み重ね 次のオリンピックで高みへと。

東洋大学に入学してから初めての日本代表での国際大会だったので、その責任と自覚、覚悟をしっかりと持って出場しようと考えていました。今回はフリーリレーに出場し、自分がレースに出ている時よりも、会場で仲間のレースを見ている方が多い大会となってしまいましたが、次のパリ大会ではより良い泳ぎができるよう、さらに練習を積み重ねていきたいと思っています。

無観客開催でしたが、たくさんの方から応援をいただき感謝しています。大学に入り人との出会いが増えた分、支えられて競技ができていたことをより実感しました。これからも精一杯頑張っていくので、応援よろしくお祈りします。

パリ大会に向け、強くなっていく私を見てもらいたい。

私はオリンピックへの出場を目指して東洋大学に入学しました。今回夢を叶えることができ、その選択に間違いはなかったと思っています。

東京大会を経験して、やはり世界で戦うためには世界で通用する練習をしなければと感じました。すでにパリ大会に向けて動き出しているので、今後さらに強くなっていく私の姿を皆さんに見てもらいたいです。また、日本代表として世界で戦う覚悟をもって競技と向き合う先輩方のレベルに近づいていきたいです。

東京大会の日本代表に決まった時から本当に多くのメッセージをいただきました。その応援があったからこそ、今の私があると思っています。ありがとうございました。

世界の舞台で戦った自信を胸に、来年の世界陸上を目指す。

今シーズンが始まった時はまだ、オリンピックの舞台に立てるとは思いませんでした。5月の世界リレーで初めて日本代表になり、海外選手とも勝負できる自信がついたことが東京大会出場に繋がるきっかけになったと思います。初出場の結果は、日本記録タイ。世界のトップ選手とともに走り、ピリピリした空気を肌で感じたレースとなりました。

今回、とても多くの方からメッセージをいただきました。こんなに応援していただいたことは初めてで、日本代表選手として選ばれることの責任も強く感じました。来年は個人200mでの世界陸上出場を1つの目標に、まずは参加標準記録突破を目指して頑張ります。

東京五輪本学関係者結果報告

選手

大橋 悠依 選手

2018年 国際地域学部国際観光学科卒業



競泳

女子200m個人メドレー
金メダル：2:08.52


女子400m個人メドレー
金メダル：4:32.08

写真：三船貴光/フォート・キシモト

東洋大学には在学中も卒業後も、変わらず皆さんの応援、サポートをしていただきありがとうございます。今回、東洋大学の皆さんにたくさん応援していただき非常に嬉しかったです。

池田 向希 選手

2021年 経済学部経済学科卒業



陸上競技

男子20km競歩
銀メダル：1:21:14

写真：長瀬友哉/フォート・キシモト

今年3月に卒業したばかりですが、東洋大学に入学していなければこの結果はあり得なかったと思います。良き指導者に出会い、4年間多くのことを学ぶことができました。

相澤 晃 選手

2020年 経済学部経済学科卒業



陸上競技

男子10,000m
第17位：28:18.37
【シーズンベスト】

写真：長瀬友哉/フォート・キシモト

初めてのオリンピックで緊張しましたが、3年後のパリ大会に向けて自分がやらなければいけないことが認識できた収穫のある大会でした。パリでは今回成し遂げられなかった入賞を目標に頑張っていきます。

青木 玲緒樹 選手

2017年 経営学部経営学科卒業



競泳

女子100m平泳ぎ
予選全体19位：1:07.29

写真：三船貴光/フォート・キシモト

オリンピックは夢であり、ようやく掲げた目標だった場所。本番では緊張もあり、思うように力を発揮できず結果は出せませんでした。そこに至るまでの過程が私の中で大切な時間であり経験になりました。

稲葉 将 選手

2018年 国際地域学部国際地域学科卒業



パラ馬術

個人グレード III
15位：スコア67.529%

団体グレード III
9位：最終得点率70.118%

写真：毎日新聞社/アフロ

メダルや入賞という結果ではありませんが、自己ベストを出すことができました。たくさんの方に支えられ応援いただいたおかげです。来年の世界選手権、3年後のパリ大会に向け努力していきます。

ウォルシュ ジュリアン 選手

2019年 ライフデザイン学部健康スポーツ学科卒業



陸上競技

男子400m
予選全体37位：46.57

写真：長瀬友哉/フォート・キシモト

日頃、皆さまの応援があるからこそ私は走ることができていると思っています。ありがとうございます。そして東洋大学という本当に素晴らしい母校があるので、これからも頑張って走り続けていきます。

川野 将虎 選手

2021年 総合情報学部総合情報学科卒業



陸上競技

男子50km競歩
6位入賞：3:51:56
【シーズンベスト】

写真：フォート・キシモト

今大会で6位に入賞できたのは、在学中から卒業後も続く酒井瑞穂コーチの温かいご指導や東洋大学の恵まれた環境のおかげです。世界選手権やパリ大会も頑張っていきます。

桐生 祥秀 選手

2018年 法学部企業法学科卒業



陸上競技

男子4×100mリレー
決勝：途中棄権

写真：長瀬友哉/フォート・キシモト

東洋大学には結果が良い時だけでなく、悪い時もいつも応援していただいています。その恩は結果で返すしかないと思っているので、次はメダルを持って感謝を伝えたいです。

津波 響樹 選手

2020年 ライフデザイン学部健康スポーツ学科卒業



陸上競技

男子走り幅跳び
予選全体26位：7m61

写真：フォート・キシモト

あらためて東洋大学で学生生活を送れてよかったと感じています。今回は自分の納得のいく結果ではありませんでしたが、世界選手権やパリ大会に向けて引き続き頑張っていきます。

萩野 公介 選手

2017年 文学部英語コミュニケーション学科卒業



競泳

男子200m個人メドレー
6位入賞：1:57.49

男子4×200mフリーリレー
予選全体12位：7:09.53

写真：三船貴光/フォート・キシモト

東京大会では個人的に納得する結果ではなかったのですが、1本1本全力を出して泳ぎきることができました。開催も危ぶまれていた東京大会で、最後の決勝まで戦えたことが本当に幸せです。

服部 勇馬 選手

2016年 経済学部経済学科卒業



陸上競技

男子マラソン
第73位：2:30:08
【シーズンベスト】

写真：フォート・キシモト

目標であった入賞を果たせず、悔しい一言に尽きる大会でした。いろいろと反省する面はありますが、今後日本記録への挑戦やパリ大会へ向け、この悔しい経験を活かし精一杯頑張っていこうと思います。

山口 凌河 選手

2019年 社会学部社会福祉学科卒業



パラ球技

男子ゴールボール
準々決勝：敗退、5位入賞

写真：フォート・キシモト

すでに3年後のパリ大会に向けて再始動しています。大学時代には学生部の方々や先生をはじめさまざまな方にお世話になり、自分の成長へと繋がりました。これからも変わらないご指導、そして応援をお願いします。

指導者

酒井 俊幸 監督

陸上競技部長距離部門監督

本学関係者からのご支援、嬉しく思います。ロンドン、リオに続き、東京大会では陸上競技部最多の8名を日本代表として輩出することができました。1年延期になりながら開催に尽力していただいたことに、心より感謝申し上げます。

酒井 瑞穂 コーチ

陸上競技部長距離部門競歩担当コーチ

競歩の池田選手・川野選手は本来であれば在学中の出場でした。それが叶わず不安もあったかと思いますが、東洋大学のプライドを持って臨み、また多くの応援に背中を押され、結果に繋がりました。ありがとうございました。

土江 寛裕 コーチ

法学部教授/陸上競技部短距離部門コーチ
陸上男子短距離強化コーチ

1年延期し社会も混乱するなか、開催していただけたこと、私たちに戦う舞台を準備していただけたことに本当に感謝しています。本学関係者の皆さまには一貫して、応援していただきありがとうございました。

平井 伯昌 監督

法学部教授/水泳部監督
競泳日本代表 監督

2020年に盛大に行われるはずだった東京大会。1年の延期で選手はモチベーションを保つことが難しかったと思います。無観客や開催への反対意見、自国の開催というプレッシャーもある中、本当に皆よく頑張ったと思います。